

消費税と社会保障を問いなおす

※(ZOOMにより開催)

日本では、消費税は、長らく社会保障の財源として位置付けられてきたが、その基本的仕組みを考察したうえで、消費税の増税が、社会保障の充実のためではなく、所得税や法人税の減税の穴埋めに使われてきたことを明らかにする。そのうえで、憲法に基づく税制改革・社会保険改革の方向性を提示する。



開催日：令和2年9月12日(土)

開催時間：午後1時から午後5時まで

会場：ZOOMにより開催

(参加者の皆様には後程IDとPassをご連絡致します。参加をご希望の方は下記の電子メールまたはFAXでご通知ください。)

講師：伊藤周平 教授 (鹿児島大学法文学部)

申込締切：令和2年9月4日(金)必着

主催：鹿児島大学司法政策教育研究センター

共催：鹿児島大学税法研究会 (鳥飼塾)

主催：鹿児島大学司法政策教育研究センター/共催：鹿児島大学税法研究会
【消費税と社会保障を問いなおす】

参加申込書

F A X送信先：099-285-7600

e-Mail：center_support@ls.kagoshima-u.ac.jp

(e-Mailの場合、下記の内容をすべてお知らせ下さい。)

氏 名

資 格 弁護士（ 期）／税理士／司法修習生／その他（_____）

所 属

連絡先 TEL

FAX

E-Mail _____@_____

※ 参加の可否や、ZOOMのID・Passのご案内のため、少なくともTELとe-Mailは、必ずご記入して下さい。

【開催日】 令和2年9月12日（土）

【時 間】 午後1時から午後5時まで

【会 場】 ZOOMにより開催

【講 師】 伊藤周平 教授（鹿児島大学法文学部）

【申込締切】 令和2年9月4日（金）必着